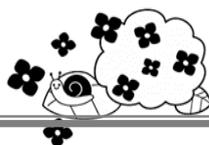


子供の町 だより

創刊：昭和 24 年 11 月
発行：社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模児童養護施設 菜の花
住所：埼玉県春日部市西金野井 337 番地
電話：048-746-0206
FAX：048-746-9215
HP：<http://kodomonomachi.jp/>



ご挨拶

「誰一人取り残さない」

社会福祉法人 子供の町
理事長 齊之平 伸一

SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットに於いて加盟国の全会一致で採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

そのような素晴らしい国際目標がある中で、世界では紛争が絶えません。

人類はアフリカの一地域で誕生し、全世界に広がりました。誕生したときの DNA を受け継ぎ、多くの人種、国に枝分かれしました。

人種、国、宗教の「違い」に着目すると争いが起きます。

同じ DNA から枝分かれした親戚同士と、「同じ」面を深く思うようにすると、思いやり、支え合いの気持ちが強くなります。

「誰一人取り残さない」の理念を深く思い、怒り、争いの世界から、お互いに助け合い、

支え合う互惠社会へ移行することに力を尽くします。そして、互惠関係と全体の調和を実現し、それによってもたらされる安定と平和の中で共存できる社会の建設に、微力ながら、貢献します。

「子どもたちに明るいニュースを」

子供の町 施設長 坂本仁志

今年も園庭の桜の花びらが風に舞う中、新年度が始まりました。子供の町では、新規採用職員 13 名を迎えて、新たな体制で令和 4 年度がスタートしました。緊張した面持ちで子どもたちの前で挨拶した新規採用職員たちも 1 か月が過ぎ、園庭で子どもたちと遊んでいる笑顔を見ることができ安堵しています。子どもたちと関わる仕事を選んで入職してきた一人ひとりに感謝するとともに、これから様々な経験をすることとなりますが、可能な限り長く子供の町で働いていただけたらと思っています。

子どもたちは、長引くコロナ禍での生活が続いていますが、ひとつ学年が上がって進学・進級し成長した姿を見せてくれてい

ますが、ふと、この 3 月で卒園して行って姿が見えなくなった 14 名のことが思い浮かんでいきます。「一人暮らしを始めた 7 名は、ちゃんとご飯を食べているかな」「進学した 5 名は学校に通えているかな」「働き始めた 10 名は朝起きてきているかな」など、心配しても仕方がないことなのですが、身体を大切に自分を大切に歩いてほしいと願っています。

さて、現在毎日のように報道されるウクライナのロシアによる侵攻のニュースを見るにつけ、心が締め付けられる思いがします。戦場へ駆り出された兵士にも家族は当然いるはずで、その家族はどんな思いでこの戦争を捉えているのでしょうか。他国からの侵攻により国を守るために命を懸けて戦わなくてはならない状況が、今の時代にやってくるとは、日本人には信じがたい状況です。平穏で暮らしていた家族が離れ離れになったり、家や町が崩壊される状況に遭遇されている子どもたちの未来はどうなるのか、世界が一つになって取り組んでいかなければならない環境問題や災害等、課題がたくさんある中、自国あるいは独裁者のエゴで人が戦いの場へ向けられることは許されないことだと思います。

また、日本でも 4 月に知床半島沖で沈没したカズワンの事故により、乗客・乗員が命を失うという報道に胸を痛めました。ずさんな管理体制のもとに運航した人為的な事故であったことが分かってきています。運航会社の利益を優先させようとした結果、尊い命を奪われ突然に家族を失うこととなった家族の怒りは収まらない事故だと思います。

このような紛争や人為的事故によって命を失われていくことに失望感を感じてしまいます。テレビを点けるとこのようなニュースばかりでは、子どもたちにも影響があるのではと危惧してしまいます。子どもたちが命の大切さを実感し、未来に夢をもって歩む社会を作っていくことも大人の責任だと思います。

子供の町では卒園した後も、後援会と法人で進学した卒園生に対して支援する制度を設け、経済的な支援を行なっています。この 4 月には 5 名が、大学・短期大学へ進学しました。今後は進学した児童に限らず、必要な卒園生に日常生活の支援や精神的な支援、相談支援が届けられたらと考えています。子供の町で育った卒園生が社会で活躍すること、輝いて生きている姿を見ることが私の仕事の原動力でもあります。そんな卒園生の皆さんからの、子供の町の子どもたちに届けられる明るいニュースを心待ちにしています。



「就任のご挨拶」

エンジェルホーム施設長 西村洋平
令和 4 年 4 月 1 日よりエンジェルホーム施設長を拝命いたしました。

経験知識共にまだ乏しいですが、子どもたち、職員と支え合いながら適正な施設運営ができるよう努力してまいります。

さて、私が大切にしている言葉の一つに、「育てる・育ちあういとなみ」という全国児童養護施設協議会の児童養護における養育のあり方に関する特別委員会報告書の「この子を受けとめて、育むために (H20.8 初版)」の副題となっている言葉があります。

子どもたちとどのように向き合い、受けとめ支援していくのか、その姿勢が常に問われているように感じられます。

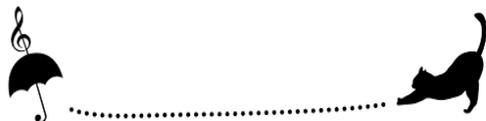
児童養護施設においては複雑な家庭環境や虐待等のトラウマ体験の影響により大人への基本的不信を抱いている子どもが多く、そうした子どもたちを養育・支援することは一筋縄ではいきません。それぞれの置かれた状況に寄り添い、思いを受けとめ、最善の利益を目指し養育・支援をしていく必要があります、そのためには、日々の養育・支援の積み重ねの中で常に考え実践し、失敗しながらも様々なアイデアを生み出し、また子どもたちに向き合うことが大切です。

そうした日々の積み重ねが、職員と子どもたちにとって心に残り、「育てる・育ちあういとなみ」となっていくのではないのでしょうか。

こうしたいとなみの先に、子供の町の理念「ここで暮らしてよかったと思える施設作り」「ここで働いて良かったと思える施設作り」「地域の親子に寄り添う施設作り」はあると考えております。

私もまた「育てる・育ちあういとなみ」の一員として、職員・子どもたちに貢献できるよう尽力いたします。

今後共ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



**4 月から、新しい職員が
13 人 加わりました
どうぞよろしくお祈いします**

「入職にあたっての抱負」

子供の町 3 寮 工藤 希

子供の町に入職して一ヶ月が経ちましたが、毎日が刺激的でとても充実した毎日を送っています。

施設職員になることは高校時代からの目標だったため、今こうして働けていること、大変嬉しく思います。

子どもとの関わりに悩むこともたくさんあるかと思いますが、どうして自分がこの仕事に就きたいと思ったのか、初心を忘れることなく、日々子どもたちと向き合っていきたいです。

「日進月歩」

子供の町 あおば 山口美咲

5 年前からパート職員としてお世話になり、今年度より 7 寮に職員として配属になりました。時折子ども達が掛けてくれる言葉に元気や勇気をもらい、職員さんパート職員さんには優しく声を掛けて頂き、施設全体の雰囲気がとても素敵だと感じ、自分も一歩踏み込んだサポートや恩返しができたらと思うようになりました。

これからは先輩職員さんに相談しながら、より良い環境づくりができるようたくさん学び、一步一步進んでいけたらと思います。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお祈い申し上げます。

「1 年目の抱負」

エンジェルホーム 6 寮 西井実優

入職して 1 ヶ月が経ちますがまだまだ分からないことだらけで、様々な業務に時間がかかり、余裕を持って子どもと接することができていないように感じています。その為、積極的に行動し早く仕事を覚え、余裕を持って子どもと関わり、子どもたちや他職員から頼ってもらえるよう頑張っていきたいと思います。

まだまだ未熟で先輩職員の方々にはたくさんご迷惑をお掛けしてしまうと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



「目標」

エンジェルホーム 9 寮 内藤大智

私は流通経済大学で保育士になるために 4 年間通っていましたが、そして無事に卒業することができて、児童養護施設子供の町で働くことができました。

大学生活ではいくつかの児童養護施設に訪問して実習を重ねて知識や技術を重ねて頑張っていました。ただ、実際に実習としてではなく働いていても分からないことや困難なことが大きく自分にとっての壁になっていますが、どんな些細なことでも一緒に働いている職員さんに相談をしてみても、解決したり新たに学んだりしています。分からないことや困っていることは相談したり、時に様々な失敗をしてしまうが、なぜ失敗してしまったのか自分の中でフィードバックをして次に失敗しないように対応策を考えて繋げていきたいなと思っています。



「私の抱負」

子供の町 すみれ 森島咲希

私は人と関わる事が好きで、あらゆる人の気持ちを理解し、どんな人にも寄り添えるようになりたいと思い、大学で心理学を学びました。また、子どもが大好きで、高校生の頃からレクリエーションボランティアをしていました。そのため、子どもと関わる事が多く、助けが必要な子どもの為になる仕事がしたいと思うようになりました。元々は養護教諭を目指していましたが、大勢の子どもを見るよりも、特定の子どもたちとゆっくりと深く関わる事が出来る児童養護施設に魅力を感じ、児童指導員になりました。今まで学んできたことを活かし、先輩の職員方を見習いながら、自分らしく頑張っていきたいです。

「自己紹介と抱負」

子供の町 ひまわり 渡辺美月

新卒で保育士として採用して頂きました、渡辺美月です。

私は「コウノドリ」というテレビドラマをきっかけに児童養護施設を知りました。そこから高校・短期大学で児童福祉を勉強する中で児童養護施設の役割などを学び、子どもたちの将来の為に児童養護施設で働きたいと志願しました。働き始めてみると、初めてのことばかりで自分の未熟さを感じて不安ですが、高校と短期大学での実習や学んだことを十分に発揮して精一杯、笑顔で元気よく頑張ります。

「新任職員としての抱負」

子供の町 たんぽぽ 氏家翔太

はじめまして。今年度たんぽぽの担当に

なりました。氏家翔太です。

私は大学では保育と社会福祉を学びました。昨年度までは、県内の別の児童養護施設に 11 年間勤めておりました。その経験や学びを活かしていきたいと思っています。好きなことは料理（するの食べるの）、野球（観るのするの）です。

子どもたちが自分の生活に納得と満足を少しでも感じられるよう、一緒によく食べ、よく話し、よく遊ぶことを積み重ねていきたいと思っています。

よろしくお願ひ致します。



「子供の町の一職員として」

子供の町 ゆり 喜多 楓

こんにちは。ゆりの喜多です。

私は子どもが好きだけでなく、子どもと密に関わることで成長や発達に伴う達成感をともに味わえる点に魅力を感じ、この職を目指しました。またこれに加え、社会福祉の知識も活かしていきたいと考えています。

最近やっと新しい生活に慣れてきたと感じていますが、まだまだ分からないことも多くあります。子どもの様子や環境などについて、多角的な捉え、考えられるようにしていきたいです。

ご指導よろしくお願ひいたします。

「自分らしさを」

エンジェルホーム 5 寮 西村 梓

初めまして。5 寮に配属されたました西村梓です。誕生日は 10 月 5 日、好きな食べ物はアイスクリーム・チーズケーキ・オムライスです。暇な日は YouTube を見たり、アニメを見て過ごしています。抱負は、児童養護

施設で働くうえで子供たちが毎日笑って楽しく過ごせる環境づくりをし、施設を卒業していくときには感謝してもらえるように支援していきたいと考えています。また、子どもが困った時には頼りにされる職員になりたいです。どうぞよろしくお願ひします。

「みなさんへ…

どうぞよろしくお願ひします」

子供の町 さくら 長谷川多奏

みなさん、こんにちは。すみれ・さくらの職員になりました長谷川多奏(はせがわたかな)です！はせがわさん、はせちゃん、はせっち、と呼ばれています。

わたしは絵を描く事や運動する事が好きなので、早くみなさんと一緒に絵を描いたりスポーツをしてみたいです。

これからみなさんと一緒にご飯を食べたり遊んだり生活を一緒にしていくと思うので、早くみなさんと仲良くなりたいです。これからもよろしくお願ひします。

「わたしのモットー」

クリニック 看護師 石川弥生

前職は 助産師 兼 フィットネスインストラクターです。

趣味は筋トレです。



見た目より かなり年齢は上ですが「今が一番若い！」をモットーに日々邁進中です。これまでに 新生児からご長寿まで、幅広い年齢の方々と接する機会がありました。年齢関係なく「出会った人 すべてが師である」という考えを常にもち

子供の町においても 毎日が新鮮の心持で勤務したいと思います。

どうぞ宜しくお願ひ致します。

「抱負」

子供の町 ひまわり 小木曾泰樹

はじめまして、今年からひまわりで働くことになりました新職の小木曾泰樹（おぎそ たいじゅ）と申します。

大学では、小学校教員としての勉強や音楽ゼミに所属して小学校の音楽の勉強方法についての研究をしてきました。大学で学んだことや自分が研究したことを活かして、子供達と真摯に向き合い、子どもたちのために自分が出来ることを精一杯やりたいと思います。また、子どもたちはもちろん地域の方々との関わりにも積極的に参加できるように頑張りたいと思いますので、これからよろしくお願ひします。



「抱負」

子供の町 わかば 吉田廉太

私は、児童・職員から信頼される職員になりたいです。

信頼される職員になれるよう、日頃から連携をとりながら積極的に話を聞き、困っていた時にタイミングよく解決することや誠実に接することを心がけることで心の底から本音を話せるように努力したいと思います。また信頼の基礎として職員とは世間話をしたり、児童とはたくさん遊ぶことで心の壁を溶かし信頼に築けるようにしたいです。

4月から1年生になりました。
目標に向かってがんばってます！

幼稚園入園 2人

小学校入学 5人 中学校入学 8人

高校入学 12人

「いちねんせいになって」

エンジェルホーム 5寮 Y.S.

わたしはべんきょうをがんばりたいです。さんすうをがんばりたいです。ちょっとむずかしいけど、たのしいです。ひらがなは、まるがたつくさんもらえてるから、はなまるもほしいです。やすみじかんにおそとであそぶのがたのしみです。



「がんばってること」

エンジェルホーム 5寮 A.K.

わたしはあさとれをがんばっています。あさとれでしんきろくをだしました。げつようびもしんきろくをだしたいです。まいにちだしたいです。ずこうで、といれっとペーパ一でなにするのかたのしみです。

「中学1年生で頑張りたいこと」

エンジェルホーム 6寮 T.M.

僕は今年の4月で中学生になりました。中学生になって部活動が始まり、入学前から入ろうと決めていたサッカー部に入りました。サッカー部では毎日走り込みをしたり、ボールのコントロールをする練習をしたりしています。僕は今、サッカー部の部活動が学校で1番楽しいです。まだまだ上手くはないですが、これから練習に一生懸命取り組んでいつか試合に出て活躍できるようになりたいです。

「高校生になっての抱負」

エンジェルホーム 9寮 K.O.

僕の将来の夢は溶接技能士です。溶接技能士になるために僕は高校で、特に工業情報数理、工業材料技術、機械実習、機械製図の授業を頑張ろうと思います。その授業の

中で、機械の仕組みや作り方などに興味を持ち、授業を受けられるように頑張りたいと思います。



「高校生になって」

子供の町 すいせん K.F.

私は今、高校 1 年生として新しいステージにたっています。

受験を終え、ほっと一息……というわけではありません。

高校の勉強は難しいので、ちゃんと予習復習をしなければならないからです。

早いうちからできるように基礎を固めないと授業に追いつけなくなってしまいます。そのような事態を防ぐため今、毎日の予習復習を欠かさずやっていきたいです。

子どもの作文 学校のでできごと

「かめかめ 30」

子供の町 ひまわり 小4 M.T.

がっこうのぎょうじで、しょうたいされて、なかよしメンバーで行きました。

いろんなメニューがあって、すし、どんぶり、デザート、ラーメンなどオリジナルのごはんがたくさんありました。ぼくはラーメンがいちばん好きなので、とてもたのしみでした。



とんこつラーメンができて、うれしかったしおいしかったです。しんぶんにものり、すごいです。またしょうたいしてもらいたいです。

「陸上競技部」

子供の町 3寮 中3 M.T.

僕は、葛飾中学校で陸上競技をしています。100mと走り幅跳びをしていて、ほぼ毎日練習をしています。短距離の記録は 13.24 秒で走り幅跳びが 5m04cm なので、これからも毎日練習して記録を伸ばしたいのと、目標の 10 秒台と 7~8m 台を目指してこれからもサボらず頑張ってやっていきたいです。あとリレータイムをもっと早くしたいです。リレータイムは 51 秒なので次の通信陸上大会で 50~49 秒を出して決勝に行きたいと思うのでこれからも引き続き全力で頑張りたいと思います。

職員寄稿



心機一転頑張ります！！

「すみれ・さくら寮に異動して」

子供の町 すみれ・さくら

主任 船越彩華

今年度よりすみれ・さくら寮の主任を拝命しました。異動した先での主任業務という事で不安も多くありますが、今はそれ以上に 16 名の子どもたちとこの 1 年過ごせることを嬉しく思っています。子どもたちはというと、職員以上に新しい環境への戸惑いが多く見られます。早く子どもたちにとって安心できる環境を作っていきたいです。

私は子供の町に入社して今年度で 7 年目になります。今までお世話になった先輩職員や当時の主任からご指導いただいたことを自身の主任業務や子供への関わりに生かし、今年度チームを組む職員の皆さまと協力しながらよりよい寮づくりを目指していきたいです。引き続き、皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「菜の花に移動して」

子供の町 菜の花 保坂楓子

今年で 3 年目になり、初めての異動になりました。2 年間お世話になった、すみれ・さくらとはまた違い、1 人で行うこと 1 人の時間がとても多く、不安や葛藤が沢山あります。しかし、子どもの人数も 4 人と少なく、今までは出来なかった個別の時間を取る事も可能になりました。その分、1 人 1 人の個性も強い為、悩む事も沢山出てきました。思春期の女の子が多い為、日々、子どもたちとどのように関わればいいのか悩みでいっぱいです。まだまだ分からない事、不安が多いですがこれから様々な経験を子どもたちと一緒に出来たらいいと思います。

2 年間の経験を活かしながらも新たな経験を積み重ねて子どもたちと楽しく生活を共にしたいです。

あれこれ

◆ 4 月 1 日 < 児童と新規採用職員対面式 >

今年、防災倉庫前に子どもたちに集まってもらい、新規採用職員の紹介をしました。集まってくれた子どもを前に、やや緊張した新規採用職員からは、皆と早く仲良くなりたい、見かけたら話しかけてほしい等、子どもたちとの関りを大切にしていきたいとの言葉が聞かれました。

◆ 4 月 1 1 日 < 小学校入学式 >

ピカピカのランドセルを背負った新一年生 5 人、ちょっとお兄さん・お姉さんになった面持ちで入学式に向かっていきました。

< 今夜は、本格寿司 >

そして、この日の夕食は、毎年恒例となっている「松葉寿司」さんによる握り寿司のお祝

いメニューでした。子どもたちと職員が待ち望んでいた、職人さんの腕で握られた回っていない約 200 食の握り寿司が振舞われました。20 年以上前から続いているこの握り寿司のプレゼントに感謝・感謝です。

◆ 4 月下旬 ~ < 3 年ぶりの鯉のぼり君 >

どんぐり塔の工事のため、2 年間休眠中だった子供の町の「鯉のぼり君」が今年は、グランドのフェンス脇に掲揚され、気持ちよさそうに青空を泳ぎました。

◆ 5 月 7 日 < 秋までの楽しみ >

今年も、地域のほっこり虹の会の方々が、施設内の畑にサツマイモの苗を植え付けに来て頂きました。去年は、新型コロナウイルスの影響で、子どもたちは植え付けには参加なしでしたが、今年は子どもたちと一緒に植え付けることができました。秋までのお芋の成長を楽しみに、収穫出来るのを楽しみにしています。

R4 年 4 月 ~ R4 年 5 月に

寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

阿部泉 荒木嗣則 和泉英仁 井上修

植田有希 遠藤佳子 岡田光男

北田幸一 木村 久保俊策 鈴木正哲

鈴木幸夫 高橋一雄 中条紀孝 中野幾夫

ニワキワコ 広松三和子 福島洋子

松本伸一郎 宮田直司 村山琢也

山田渉 幸ノ池商店 内牧夢らんど

春日部夢らんど 平方夢らんど

有縁社会倶楽部手づくり会 (株)YTSUN

(株)並木樹脂 (株)ヒイラギ (株)ブルック

(株)みのや ピーアール(株)

(株)リパティエステート ダンレックス(株)

(有)沖田土木 (有)萩原製作所

他匿名の方々